

平成18年5月30日

古賀市議会

議長 小山 利幸 様

宮地岳線の存続に関する  
議会での検討を求める請願書

【請願人】

【紹介議員】

古賀市議会議員.....

古賀市議会議員.....

## 請願趣旨

宮地岳線の鉄道としての存続の可能性を古賀市議会において検討していただくことを請願します。

## 請願理由

平成18年3月31日、西鉄は宮地岳線の西鉄新宮駅～津屋崎駅間の廃止届を九州運輸局に提出しました。

今後、沿線の3自治体と県と国と西鉄とで代替手段等についての協議が行われるとのことであり、現状のまま協議が進めば鉄道として存続することはほぼ絶望的です。

宮地岳線は地域の住民に長年にわたって親しまれた鉄道路線であり、特に車の運転ができない高齢者や障がいのある方、子どもや学生にとっては欠くことのできない交通手段です。

特に本市では、古賀西小学校の児童も通学に利用しており、その廃止によって遠回りな上危険な道を通学することを余儀なくされてしまいます。古賀市から宮地岳線を使って新宮高校や水産高校や香住丘高校などへ通学する高校生もいます。

これらの人々にとって、路線の廃止は移動手段を奪われることであり、たとえ代替の交通手段ができたとしても現在の所要時間や交通費での利用は困難であり、不便を強いられる結果となります。

また、休日の国道495号線の渋滞は著しく、廃止によってさらに渋滞が激しくなれば生活道路への自動車の流入は避けられません。周辺住民の安全な地域生活を脅かす結果にもなりかねません。

加えて、宮地岳線を利用して本市の商業施設に買い物に来る他市町の住民もいます。

宮地岳線の廃止は本市中心部の顧客を失うことになり、中心商店街への影響も懸念されます。

西鉄古賀駅前に集中する医療機関に通院する他市町の住民も不便を強いられることになります。

逆に宮地岳線をもっと活用して、中心市街地の活性化を図ることも可能性もあると思います。そのような可能性がある公共交通機関を失うのは、本市にとって大きな痛手だと考えます。

環境にやさしい交通手段としても宮地岳線を存続する意義は大きいと思います。

以上の理由から、私ども沿線住民は、宮地岳線の新宮駅から津屋崎駅までの区間の鉄道としての存続の可能性を古賀市議会の皆様にご検討いただき、ご尽力を賜りますよう請願いたします。